

支 所 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

支所名	樋脇支所	支所長名	時田 逸男
------------	------	-------------	-------

支所の 経営資源	構成人員	計	職員	嘱託	計
		計	28人	17人	45人

①支所の使命	支所は、地域住民に親しまれ、信頼され、身近に感じられるような存在であるべきことから、以下のことを支所の使命とする。 (1) スピーディで質の高い公共サービスを提供すること。 (2) 市民との協働・参画で地域力の向上を目指すこと。 (3) 安全・安心の地域社会の形成を図ること。 (4) 本庁との連携を密にし、潤滑な事務事業を遂行すること。 (5) 地域の特性を生かした地域振興及び産業振興を図ること。 (6) 組織機構再編の方針に基づき、住民サービス維持のための仕組みづくり。	②組織目標像	【支所の目標像】 (1) 市民との共生・協働の推進 (2) 安全で安心な地域づくり (3) スピーディで質の高いサービスの提供 (4) 観光・交流の推進 (5) 農林水産・商工業の振興 (6) 道路・住宅・河川・公園等の安全管理の徹底 (7) スムーズな（仮称）市民サービスセンター移行への取り組み
---------------	--	---------------	---

平成24年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標（めざそう値）	⑤具体的な取組内容		⑥進捗状況（年度中間）	⑧年度末の達成状況
共生・協働の推進 【市民生活課】	○コミュニティ協議会の支援 (1) 地区コミ会長会議（年2回） (2) コミ主事会議（年12回） (3) 地区コミ訪問協議（年12回） (4) 事業実施に伴う支援	① 事業計画に基づく事業実施のための支援 ② 市が行う事業等の説明・周知 ③ 各地区コミが抱える課題解決の検討・協議	○	①②③ 会長会議の開催 1回 コミ主事会議 6回 地区コミ訪問 8回 等概ね計画どおり実施済み	○ ①②③ コミ主事会議 計11回、地区コミ訪問計12回実施し、市の事業説明ほか各コミの課題解決のための訪問・協議を行った。
	○自治会の支援 (1) 事業実施に伴う支援 (2) 自治会加入の促進	① 事業計画に基づく事業実施への支援 ② 自治会未加入者への啓発	○	①② 事業計画の作成のための支援、自治会加入促進のための活動を計画通り行った。	○ ①② 自治会の運営の在り方や市の支援事業等について説明会を開催した。また、8月を自治会加入促進強化月間とし、自治会長はもとより、未加入者へ葉書で周知・啓発を行った。

支 所 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

安全安心な地域づくり 【市民生活課】 【産業建設課】	○交通事故防止及び防犯活動 (1) 交通事故防止 (2) 防犯意識の高揚	① 交通安全啓発パトロール ② 千人立哨の実施 ③ 防犯パトロール	○ ①②③ 交通安全運動週間に合わせ交通安全・千人立哨・キャンペーンを実施するとともに防犯パトロールも実施した。	○ ①②③ 左記のほか、交通事故防止の啓発を図るため、交通安全教育を実施した。 ・さわやか号 9/12、3/21 延べ30名 ・ひまわり号 11/13 延べ79名 ・交通安全運動期間中立哨 春147名 秋174名 ・キャンペーン 春14名、秋20名、冬24名 ・千人立哨 13団体 43名
	○防災意識の強化・充実 (1) 防災マップ更新による市民周知の徹底 (2) 災害時のスピーディな情報伝達及び市民周知	① 防災会議等での内容説明 ② 防災行政無線による市民周知	○ ①② 防災マップを配布し、自治会主催の防災会議や出前講座の要請など住民の意識が高まった。	○ ①② 左記に同じ。 ・7/15 田代ニュータウン自治会 自主防災訓練 ・8/20 藤本地区区コミ 防災出前講座

支 所 経 営 方 針

<p>○健康な暮らしの推進 (1) 対象者の訪問回数増 (2) 各種検診の促進</p>	<p>① 声かけ、安否、受診状況の確認など関係者との連携 (民生委員・健やか支援アドバイザー・在宅介護支援センター・母子保健推進員等との連携) ② 各種がん検診の受診の啓発及び受診率の向上</p>	<p>○ ① 情報収集・情報提供を受け、民生委員・健やか支援アドバイザー・在宅介護支援センター・母子保健推進員等と連携し、訪問等を実施している。・実績94回 ○ ② 自治会文書等により周知し、又、各種保健事業実施の際、啓発している。・5回 86人</p>	<p>○ ① 情報収集・情報提供を受け、民生委員・健やか支援アドバイザー・在宅介護支援センター・母子保健推進員等と連携し、訪問等を実施している。・実績220回 ○ ② 自治会文書等により周知し、又、各種保健事業実施の際、啓発している。・21回 347人</p>
<p>○環境保全と道路等基盤の維持 (1) 環境美化の広報・啓発促進 (2) 住宅管理人との情報交換 (年10回) (3) 道路パトロールの回数と質の向上(随時)</p>	<p>① 資源ゴミの分別収集の徹底 ② ゴミの不法投棄防止と環境美化の啓発 ③ 住宅等の維持管理 ④ 市道・農道等の維持管理 ⑤ コミ協、自治会・職員等からの道路情報収集の徹底</p>	<p>○ ① リサイクル推進員による啓発を行っている。 ○ ② 環境美化推進員12名で毎月管内巡視を実施 ・延べ124回 ○ ③ 毎月面会し維持管理に努めている。 ○ ④ 市道維持管理修繕等27件処理済み。 ○ ⑤ 交通安全施設(ロードミラー)11箇所設置、情報収集による要望も随時対応している。</p>	<p>○ ① リサイクル推進員による啓発を行った。各自治会でも正しい分別が定着してきている。 ○ ② 環境美化推進員12名で毎月管内巡視を実施。 ・延べ 283回 ・2/20 研修会実施 ○ ③ 毎月管理人との面談により住宅等の維持管理を行った。(49件) ○ ④ 市道維持管理は住民からの要望も含め随時行った。(153件) 市道維持工事(41件)</p>

支 所 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

					農道（48件） 林道（5件） ○ ⑤ ミラー、区画線、ガードレール（18箇所設置整備） 支障木、枝等の伐採処理（3箇所）
スピーディで質の高い行政サービス 【市民生活課】 【産業建設課】	(1) 支所内ミーティング（毎週） (2) スピーディな行政運営 (3) 重要案件の報告文書化 (4) 書棚・書庫の整備（文書ステリング時） (5) 組織機構再編への取組み	① 親切な市民対応の励行 ② 情報共有、課題解決のための支所・課内会議等の実施 ③ 支所共有フォルダ等を活用した情報の共有 ④ 報告・連絡・相談の励行 ⑤ 文書・書庫の整理 ⑥ 組織機構再編方針への住民の理解と、スムーズな支所再編への取組み	○ ① 窓口でのあいさつや声かけを行い、親切な対応に努めている。 ○ ② 毎週の支所内会議や課内会議により情報の共有化を図っている。 ○ ③ 共有フォルダの整理、活用にかけている。 ○ ④ 各職員が報・連・相を励行し、問題の早期解決に努めている。 ○ ⑤ 文書ステリングに合わせて、積極的に実施 ○ ⑥ 住民説明会を経て理解を求めたが引き続き検討を行うこととされたことに伴いコミ会長会等においてこれまでの経緯について説明を行った。	○ ① 窓口でのあいさつや声かけを行い、親切な対応に努めている。 ○ ② 毎週の支所内会議や課内会議により情報の共有化を図っている。 ○ ③ 共有フォルダの整理、活用にかけている。 ○ ④ 各職員が報・連・相を励行し、問題の早期解決に努めている。 ○ ⑤ 文書ステリングに合わせて、積極的に実施 ○ ⑥ 住民説明会を経て理解を求めたが引き続き検討を行うこととされたことに伴いコミ会長会等においてこれまでの経緯について説明を行った。	
観光・交流の推進 【産業建設課】	(1) 各種イベント及び観光行事への支援（随時） (2) シティセールスの展開（随時）	① 温泉杯サッカー大会・よさこい祭りなど各実行委員会等との連携協力及び特産品販売の	○ ① 中学生、少年、少女大会への協力を行った。 よさこい祭り11月への	○ ① 温泉杯サッカー大会 中学生：4日間72チーム	

平成24年度

支 所 経 営 方 針

薩摩川内市

		<p>検討。</p> <ul style="list-style-type: none">② 遊湯館・鷹の巣冷泉等観光施設の指定管理者との連携協力③ 観光交流関連事業の連携④ 市内外への情報発信	<ul style="list-style-type: none">○ ② 指定管理者との連携を随時行っている。○ ③ 連携を随時行っている。○ ④ 必要において行っている。	<p>少年：4日間76チーム 少女：2日間4チーム 高校生：3日間29チーム 参加者数：約7,500人 選手：約3,600人 物販売り上げは約10万円（内特産品：約1万円）</p> <ul style="list-style-type: none">・よさこい祭り 県外：43チーム 県内：23チーム 11月24～25日の2日間開催 演舞者述べ850人 観覧車述べ20,000人○ ② 連携や打合せ等を随時実施し、鷹の巣冷泉においては営業時間の見直しを行った。（営業開始時間9時→15時）○ ③ 必用に応じ随時実施してきた。○ ④ ホームページ等への掲載を行った。
--	--	---	---	---

支 所 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

<p>農林水産・商工業の振興 【産業建設課】</p>	<p>(1) 集落営農に関するモデル地区の取り組み支援（随時）</p>	<p>① 農事組合法人の2集落営農組織の自立経営に向けた生産技術・経営管理指導等の支援と、米作以外の作物導入の実践による、地域住民の生活安定の向上</p>	<p>△</p>	<p>①（農）藤の里への簡易ハウスによる「ほおづき」の取り組みについて、話し合いが進行中である。</p>	<p>○ ① 実践に向けて、更なる話し合い活動が行われ次年度からの作付けに弾みがかけられた。</p>
	<p>(2) 新規認定農業者のための各種研修会等の開催（随時）</p>	<p>① 新規就農者の自立・経営指導 ② 認定農業者の増進及び経営指導の充実</p>	<p>○</p>	<p>①② 技連会が中心となり、経営指導の巡回を実施している。</p>	<p>○ ①② 人・農地プラン作成に伴い、新規就農者と認定農家による個々の巡回による説明会と全体説明会の実施により理解を得た。 24年度：沢牟田、村子田地区 25年度：倉野、菌田地区</p>
	<p>(3) グリーン・ツーリズム事業の普及・啓発 （受け入れ：年7回） （ブロック会議：年7回）</p>	<p>① 受入れ農家の掘り起こしによる、修学旅行生の民泊・農業体験の充実と地域の活性化推進</p>	<p>○</p>	<p>① 新規受入れ農家1名確保 （現況23名内1名新規） ・受入れ農家数23名 ・学校受入れ実績 （4校：131名）</p>	<p>○ ① 新規受入れ農家を2名確保した。 （現況24名、内名2新規） 学校受入れ実績 8校：253名 （前年 6校：187名）</p>
	<p>(4) 農地流動化の推進による耕作放棄地化の抑制 （流動化面積：20ha）</p>	<p>① 農業経営基盤強化促進法による貸借権の設定によって中核・担い手農家への農地流動化を促進し、高齢化・労力不足による耕作放棄地化を未然に防ぐとともに、意欲ある農業者の生産基盤の拡張を図る。</p>	<p>○</p>	<p>① 10月1日現在の農地流動化実績は7.8ha 今後のピークは12月～3月を見込んでいる。</p>	<p>○ ① 2月28日現在の農地流動化実績は16.9ha 更新期の到来通知や推進活動を実施しており近く申請手続きが成される予定である。</p>

支 所 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

樋脇教育課等関係機関との連携	(1) スポーツ大会への参加者増	① スポーツ活動団体と連携による、生涯学習及び地域の振興	○	① 市比野温泉杯サッカー大会やホッケーフェスティバル等への支援を行っている。	○	① サッカー大会実行委員会と密な協力体制により選手、観客併せて約6,700人で無事盛大に終了した。
	(2) 生涯スポーツ、生涯学習機会の増加	② 社会教育・学校教育・生涯学習との連携協力	○	コミュニティ協議会主催行事等に参加している。	○	② コミュニティ協議会による生涯学習等連携できた。
⑦年度中間総括	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ協議会との連携については、会長会議・コミ主事会議を通じ事業への支援や課題の解決に努めている。 ・ 安全安心な地域づくりについては、関係機関の協力を得て、目標どおり推進できている。 ・ 質の高い行政サービスについては、毎週の支所内会議等により情報の共有を図り、所属職員への周知徹底に努めている。 ・ 各種イベントの支援は、サッカー大会実行委員会と密な協力体制により選手、観客併せて約6,700人で無事盛大に終了した。 ・ 指定管理者と営業検討会等を重ね連携が図られている。 ・ 産業振興面においては、農事組合法人・新規就農者への支援や経営指導の充実、また農地流動化の促進が図られている。 ・ 市道・農道・林道の安全確保のため要望やパトロール、情報収集により安心・安全な管理に努めている。 ・ 市民が安心して暮らせる住宅管理のため、面会や住人からの相談に努めている。 ・ 樋脇教育課との連携については、相互に情報交換し、事業実施に協力できている。 					
⑨年度末総括	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に概ね計画どおり実施できた。 ・ コミ協、自治会との連携により共生・協働に向けた事業や関係機関の協力を得て安心安全な地域づくりの事業も実施できた。 ・ 毎朝の朝礼や毎週の支所内会議等により情報の共有化を図り、職員はもとより嘱託員、臨時職員への情報周知（注意）も徹底できた。 ・ 各種イベントへの支援は、実行委員会等との密な連携により、事故等もなく盛大に開催された。 ・ 指定管理者との密な連携により、施設利用者が安全して利用できる施設の管理運営が図られた。 ・ グリーン・ツーリズムにおいては、新規受け入れ農家の確保と受け入れ学校は昨年を上回る実績で、事故等もなく無事に終了した。 ・ 市道・農道・林道・市営住宅等の公共施設の維持管理は、市民要望の対応やパトロールの強化により安全管理が図られた。 ・ 国の新たな農業施策である、人・農地プラン作成や、農地流動化の推進活動が関係機関との連携により実施できた。 					